

# 早島町 議会だより

令和4年 第75号  
3月1日

ふれあいの森公園内の竹林で奉納神楽

第5次総合計画議決	2P
常任委員会	3P
ここが聞きたい！一般質問	4P～12P
幼稚園児が議場を見学	13P
議会報告会を開催	13P
成人式	14P

## Contents



# 人口増に対応した住民施策が焦点 第5次総合計画 議決

12月定例会議では、今後早島町の10年の大きな指針となる第5次総合計画「基本構想」及び構想に基づく5年間の分野別の計画となる「基本計画」が議決されました。

総合計画は現在増加する町人口に対し、ひっ迫する住民福祉への対応が主な課題となっています。(総合計画は町ホームページに掲載しています。)

## 『総合計画』に対する 主な質疑

**Q**…施策展開の重点課題は

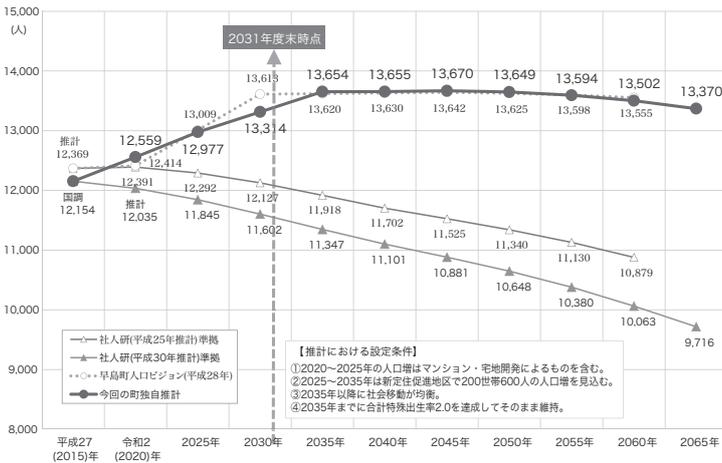
**A**…安全安心に暮らせ豊かさを実感できるまちを目指す。  
人口増に環境整備が追い付いていないところがある。それを補完したい。

**Q**…課題解決のため、どう具体的な案を持ち議会と協議するのか

**A**…議会と協議の場を設けたい。

**Q**…人口増に福祉施策が対応できていない。総合計画を個別施策に反映するよう指示を。

**A**…担当部局に指示している。



図表22 定住促進と出生率の改善を反映した中長期的な人口の見通し(人)(第5次総合計画基本構想より)

## 人事案件

早島町選挙管理委員の選任

第一位	林 哲也 氏	平松 謙一 氏
第二位	岡本 善弘 氏	三宅 正明 氏
第三位	大崎 広人 氏	佐藤 茂 氏
第四位	木曾 稔 氏	國富 勝彦 氏

(補充員)

## 新型コロナ 『臨時特別給付金』

議会は一刻も早く対象者への支給をおこなうため、専決処分を認めました。

### 主な質疑

**Q**…対象者2634人だが、給付を受けられない子育て世帯の数は。

**A**…55世帯98人。

**Q**…特別給付金に加えて、子育てしていない、生活が困窮している町民に対し、自治体独自の施策は。

**A**…各課長が考えている。

行政不服等審査委員の推薦

栗坂 祐子 氏
大本 崇 氏
日笠 清 氏
同意

令和3年10月～12月

## 議会活動一覧

10月  
議会活性化特別委員会

11月  
議会広報特別委員会  
議会広報特別委員会  
議会広報特別委員会

12月  
議会活性化特別委員会  
議会運営委員会

17日  
定例会(～17日)  
議会活性化特別委員会

※右記活動は抜粋です。これ以外にも議員各自で勉強会や研修会への参加、議員報告会等があります。

## 早島町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

【総務厚生常任委員会】

**Q**…条例改正でどのような影響があるか？

**A**…町独自施策として、18歳未満の子供の均等割りを減額しているが、今後は、6歳未満の子供については、国の制度の対象となる。  
町民の皆さんが負担する金額は変わらない。

**Q**…全世代型の社会保障となっているが。

**A**…全世代型の社会保障とは国の政策のパッケージであり、本条例の改正はその一部である。

## 岡山市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び岡山市町村総合事務組合理約の変更について

【総務厚生常任委員会】

**Q**…パートタイム会計年度任用職員の受けられる福利厚生は、何があるか？

**A**…以下の5点が福利厚生への補助対象となる。  
成人病健康診断補助金  
成人病健康診断補助金  
保健施設利用補助金

文化体育振興費  
体育大会  
自治功労者記念品

令和4年10月1日から市町村共済組合または公立学校共済組合に移行。

## 請願1件を不採択

【産業文教常任委員会】

請願第4号 「新型コロナ禍による米の需要改善と米価下落の対策を求める意見書」

採決結果

反対多数で不採択

## 令和3年度一般会計補正予算を可決

【予算審査常任委員会】

### 議案審議の主なもの

歳入歳出それぞれ1億740万円の一一般会計補正予算を追加し、総額は58億939万円となった。

主なものは新型コロナウイルススワクチンの3回目接種費5242万円など。

### 金の件数は。

**A**…個人は970件、企業版は4社（エバルス、山陽新聞、ソーデ社、他）から寄付をいただいた。

**Q**…小児医療費の990万円の補正の内容は。

**A**…当初の見込み額に対して子供の数が増え、利用件数が増加したため。

### Q…消防費の今後の見通しは。

**A**…消防事務委託料として基準財政需要額の78%を倉敷市に支払っているが、令和4年度は80%、令和5年度以降、毎年1%ずつ引き上げ、令和7年度83%となる。

### 主な質疑

**Q**…ふるさと納税寄付金（個人）および企業版ふるさと納税寄付

# 一般質問



松越健一 議員

**問** 増加する子育て世代の対策は

**答** 保育園の新設を考えている

については努力している。年度当初の待機児童数は平成30年度8人、31年度6人、令和2年度12人、令和3年度23人となっている。

**問** 待機児童の年齢構成はどうか。

**答** 健康福祉課長

0、1、2歳児がほとんどで、12月時点での待機児童は約40人。

**問** 0、1、2歳児を受け入れる小規模保育園の検討はされたのか。

**答** 健康福祉課長

待機児童の解消には一般の認可保育園が妥当であると判断した。

て町長はどのように考えているか。また、議会からコロナ禍での改善を求めたが見過ごされている。

**答** 町長 (状況説明に終始、明確な答弁無し。)

**小学校と中学校の学業**

**問** 小学校で教科担任制を取り入れているが、成果は上がっているのか。

**答** 教育長

成果は徐々に上がってきている。いろいろな先

生に教えてもらうことは良いことと考える児童が大半である。また、各教科の授業内容がよくわかると答えた児童が90%超である。

**問** 中学校では講師の割合が非常に多いと思うが。

**答** 教育長

産休育休の教員がいる場合、必ず講師が入るようになってきている。全県的にも講師の配置が多くなっている。

**中川町政は状況説明ばかりで進展がないが**

**問** 早島町保育所設置運営事業募集要項について、健康福祉課で来年度に1億8,000万円の予算編成が出ているがその内容は。

**答** 健康福祉課長

保育所の整備に係る

補助金である。

**問** 今後新しく募集する園に対して町としてどのように援助をするのか。

**答** 町長

基本は何もしない。

**問** この条件では公募はないと思うが、ない場合はどうするのか。

**答** 町長

公募がない時点で検討しているが、保育士確保に

**待機児童政策**

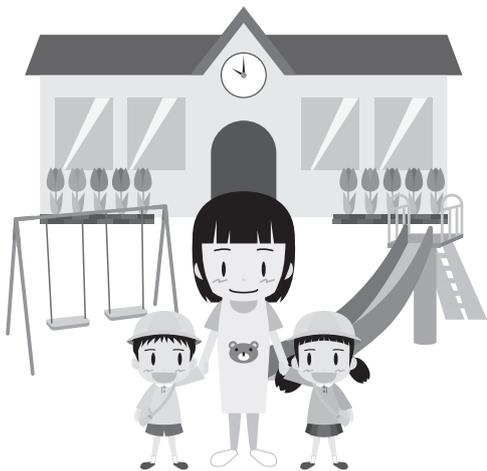
**問** 町長が就任して6年余りになるが、一向に待機児童が減少していない。待機児童についてどのような対策を考えているのか。

**答** 町長

待機児童解消には至っていないが、保育士確保に

**放課後子ども教室**

**問** 以前から劣悪な環境で放課後を過ごしていることに対し



問

3歳児検診で弱視の早期発見に屈折検査機器を  
購入しては

答

来年度から屈折検査機器を導入し、3歳児検診  
で実施したい



根木 一 議員

**問** 人が見えるために不可欠な視神経の発達には6歳児までに止まる。この時期までに目の屈折異常などを把握できれば、治療や訓練で弱視になるのを防ぐ余地があり、その時期は早いほど良いとされている。

3歳児検診では、日本眼科医学会も整備を求めている。弱視の早期発見に屈折検査機器(120万円)の購入を要望する。

なお、国は機器を購入した自治体に来年度は半額補助の方針である。

**答 町長** 屈折検査機器は、屈折異常や斜視などの両目の異常を発見する視覚スクリーニング用の医療機器である。県内では3分の1近くの自治体で導入している。国の母子保健強化対策事業を活用し、来年度から屈折検査機器を導入し、3歳児検診で実施したい。

ヤングケアラー

**問** ヤングケアラーとは、慢性的な病気や障害のある親の介護、また親に変わり

家事、幼い弟妹の育児世話等を、日常的に担う18歳未満の子供を指し、世話に忙殺され、学業や健康面、友人関係面に影響が出るおそれが指摘されている。町として実態調査はしたのか。

**答 町長** 国の実態調査研究によると、本町では1学級に1人から2人のヤングケアラーが存在することになる。現在は実態調査はできていない。

**問** 当事者や関係者の相談、支援窓口の設置及び家事・育児ヘルパーの派遣を行う予定は。

**答 町長** 地域包括支援センターや介護保険部門が担当し、利用できるサービスにつなげていき、子どもの家庭環境を変えていく支援を考え

る。ヤングケアラーが孤立することなく、関係部門による支援と地域における支援体制の構築や連携を強化し、認知度を向上させ社会全体で支える体制の構築に務めたい。

コロナワクチン接種

**問** 3回目ワクチン接種の申込方法を聞く。

**答 町長** 接種予約は、電話4回線、臨時窓口2個所で実施したい。

子宮頸がんワクチン接種

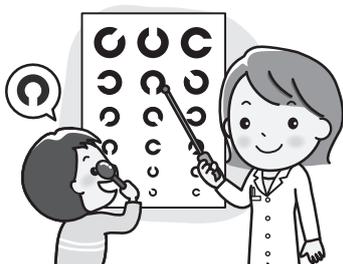
**問** 国のワクチンの定期接種の積極的呼びかけで、接種対象者に個別通知等をしてはどうか。

**答 町長** 接種対象者に対してワクチン

の有効性、安全性、副反応等を検討し、判断できる情報の周知をする。**要望** 積極勧奨がなかった期間の対象者も無償とするように。

その他の質問

○カーボンニュートラルについて。





佐藤博文 議員

**問** 保育園の待機児童解消のための  
保育園新設は

**答** 多くの事業者に周知し新保育園の公募を行っている

**町の子育て支援**

**問** 城山学級で使用

している手狭になつた児童館の新設は考えているのか。

**答 町長** 児童館は子育て支援の拠点と捉え、健全な育成を図ることが必要であり、検討会議で計画していくことが必要と考える。

**来年度の保育園待機児童**

**問** 保育士の確保は

問題ないのか。

**答 町長** 保育士の人材確保や離職防止を図るための助成金や採用支度金を交付して、保育所運営にも配慮した施策を考えている。

**問** 喫緊の課題であ

る保育園の新設は考えていないのか。

**答 町長** 新保育園

は定員を最低でも80人以上とし、多くの事業者の方に周知し参加してもらうために公募を行っている。

**問** 現在の運行三路

「コミュニティバス」の再構築

線の見直しは。

**答 町長** 南コース

は低調な利用状況なので、運行エリアの拡大、利用の多い時間帯を手厚く運行するなど効率の良いダイヤへの見直し、利用促進を図りたい。

**問** フリー乗車の実施は考えていないのか。

**答 町長** 安全性の

確保からフリー乗車は難しいと判断した。フリー降車のエリア拡大は検討して、利便性の向上を図りたい。

**問** 自動運転等を取り

入れた再構築は。

**答 まちづくり企画**

課長 AIを取り入れた自動運転等を含め、時代の流れに取り残されないよう、先進自治体の動向を注視しながら運行に努める。

**農振地域の圃場整備や米価下落に対する取り組み**

**問** 圃場整備や護岸

工事の進捗状況は。

**答 町長** 農業者自ら護岸工事を行う際は、資材だけでなく施工費の一部を補助

出来るように取り組む。

**問** 米価下落に対する

農業従事者に対する取り組みは。

**答 町長** 方法を考え、何らかの補填をする事を考えている。



待機児童解消のための保育園新設は

問

人口増加に対し実態が追いついていない  
待機児童対策は

答

認可保育園を公募している



林 郁夫 議員

**問** 人口増加に対し各種施策が実態に追いついていない状況にある。現在早島町の待機児童数は、60人とか80人と言われている。

**答** 町長 待機児童対策は、本町の喫緊の課題であると認識

している。全国的な保育士不足及び施設不足から本町においても待機児童が発生している。待機児童解消には、早急な保育士確保、保育の受け皿、そして施設の確保が必要である。

**答** 町長 事業者の方に広く提案を募っており、いろんな質問を受けながら、町

としては考えていきたい。場所は、町内のどこかでということの中でお願いしている。

**問** 既設の保育園内の各部屋を整備・増設、新設されるJR早島駅、企業の会議室、空き家等の活用についての調査検討は実施したのか。

**答** 町長 認可保育園といたことこの整備を考えているわけで、町の施設で代替えるようなものはないということ、今回公募に踏み切った。

の移動に大きな支障を与えている。バス停留所を団地の奥に増設していただきたい。

**答** 町長 日笠山団地は高齢化率の速さ、急勾配道路等から移動手段確保が大きな課題になっていることは認識しているが、関係法令上、コミュニティバスの

車両幅では通行できない道路幅員の区間があり、現在通行には至っていない。

**答** まちづくり企画課長 現在のコミュニティバス乗り入れ可能な道路改修方法、現道のままで乗り入れが許容される車種・乗車人数及びそれぞれの費用について検討したい。

コミュニティバス  
経路変更

**問** 日笠山団地の約130戸の住民が主に利用しているバス停留所が、わかみや保育園横の団地入口部にある。団地内の急傾斜道路は高齢者



急峻な坂が続く日笠山団地バス停付近



真鍋和崇 議員

**問** 保育園の入所待ち80人  
用地確保で早急に解消を

**答** 考えながら計画をすすめる

**人口増に対応した保育園、学校、城山学級の対策**

**問** 第5次総合計画（以下計画）の重点課題の人口増にどう問題意識を持つか。  
**答 町長** 転入加速で行政サービスが追いつかなくなる。課題解決に取り組み。保育園の待機児

童問題は計画でも喫緊の課題としてい  
る。入所待ちは計80人（11月）に上る。

町は保育所誘致を行っているが、本町は土地利用度が非常に高い町。用地の確保で進捗速度が向上する。仮に園が撤退した場合にも保育用地として継続利用ができる。

**答 町長** それも考え進めるが、今は公募の中でやりたい。  
**問** 保育園新設は非常に時間がかかる。町が臨時に町施設等の一部を活用し小規模保育事業所を直営で開設しては。一刻も早く待機児の受け入れ体制を。健康福祉課長

想定してない。

**問** 危機意識をしっかりと持つべきだ。（その他、学校の教室不足、城山学級の過密の問題、良好な住環境の確保について質問）

**問** ワクチン接種で足りない幼稚園や保育園等で職員の定期的な検査の実施を。  
**答 町長** 簡易抗原検査キットを園に配布し必要に応じ使用する。

**コロナ影響下での米価下落対策**

**問** 今年は銘柄とも3割近い値下げ幅。【別表】のとおり過去最大の暴落だ。農業者から「夏の長雨、秋の高温で米の等級が下がった。農業機械の軽油代は高騰し2割高。肥料も1割値上り。そしてコメの大暴落だ」稲刈りしても赤字

が出るだけ」と聞く。ぜひ米価下落対策の具体化を。併せて転作作目の研究や、国県の補助制度の情報提供を。  
**答 町長** 支援策は必ず行う。

**建設農林課長**

**答** 町農業再生協議会で意見を聞き、取り組む。

**バス通学の継続**  
**問** 西部・北部地域の小学生のバス通学取りやめの方針に対し、近年の交通環境の悪化、猛暑、不審者への懸念等を理由にバス通学の継続要望が相次いでいる。

**答 教育長** 希望利用する方の希望をふまえ検討する。

**その他の質問**

高齢者の難聴へ補聴器購入補助の実施を

作柄/金額	2019年	2020年	2021年
アケボノ（1等）	12,500	11,300	8,220
アケボノ（2等）	11,200	11,000	7,920
朝日（2等）	11,900	11,700	8,700
ヒノヒカリ（2等）	13,100	12,960	9,000

【別表】米概算金価格表（JA晴れの国岡山）（単位：円/60kg）

# 問 『防災におけるDX』への取り組みは

# 答 今後、調査研究をしながら、新たな仕組みやデジタルトランスフォーメーションに取り組む



佐藤智広 議員

**問** 町総合防災訓練は、コロナ禍による参加者の安全面を第一にということで、昨年は中止。本年は3月に実施予定だと聞いたが、今回の防災訓練は、何に重点を置き、どのような内容の予定なのか。

**答 町長** 南海トラフを震源とする大規模地震が発生し、震度6弱の激しい揺れを観測したとの想定で訓練を3月13日に実施する予定。

**問** 防災におけるDX(デジタルトランスフォーメーション、以下DX)の肝となるのは、災害時における関係各省市町村の情報共有だと聞いているが、本町の防災におけるDX推進状況は。

**答 町長** 現在は、調査研究の段階で今後、勉強しながら進めていく。

**答 副町長** LアラートやJアラートを確実に届くように整備することは勿論、LINEを活用して各地域の情報を吸い上げ、それを災害対応に生かすような仕

組み等も考えていく必要がある。

## ホームページのリニューアル

**問** ホームページ見直しやその時期は。

**答 町長** サポート終了の見込みで、更新を予定している。

**答 まちづくり企画課長** 現在のCMSを用いた町ホームページは第4世代となる。タブレットやスマートフォン等の普及による環境の変化へ対応すべく、次期第5世代のホームページの更新にあたっては、利用者からの意見を反映した改善に取り組みたい。

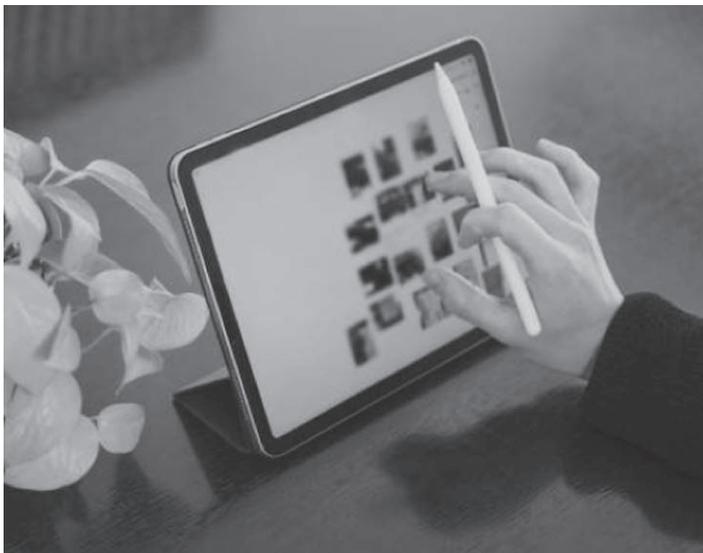
**問** CMSは、専門知識なしでもサイトの更新、追加が可能。こうした機能のお陰で、更新、追加の作業が分業化もできるのだが、十分に機能

していないようだ。

**答 まちづくり企画課長** この度のリニューアルにより、職員みなで早島町の情報を提供する体制を構築していくつもり。コンテンツの作成や管理などの運営体制についても、更新に併せて見直しをしていく。

## その他の質問

消防団の機能的な災害通信システムの検討及びコロナ禍における消防活動。



自治体DX(デジタルトランスフォーメーション)は防災分野でも本格始動!

L-ALERT(Lアラート): 中央官庁や地方公共団体他、災害関連情報の発信者と各種メディア間の情報共有するシステム基盤。



古田敬司 議員

問

第5次総合計画の目玉は

答

都市基盤の整備と各種制度の展開

コロナウイルス  
感染対策

問 冬場に向け、コロナウイルス感染流行の第6波が懸念されおり、今後どのような対策を考えているのか。

答 町長 町として県内の感染状況や県の対策本部の方針を踏まえ、今後も県と

足並みをそろえ、感染防止対策を行う。町内でさらなる感染対策が必要と判断したときは、県の対策以上の措置を講じて感染防止を行っている。

マスク、消毒液  
のストック

問 マスクのストック状況ならびに庁舎

内に常設している次亜塩素酸電解水の利用状況を伺う。

答 町長 消毒液は利用状況に応じて随時購入している。また現在保有しているマスクは2万5千枚、消毒液は1レボトルで80本、それ以外に災害時用の備蓄でマスクが5千枚、消毒液500ml 24本保

備が今一番大きな課題と認識している。第5次総合計画を継承し、都市基盤の整備と各種制度の展開を進めつつ、新しい町の枠組みを検討、揭示していく。

有しており、ある程度の期間は対応できる状態にある。

第5次総合計画

問 町長がこの6年間早島丸のかじ取りを行ってきたが、特に町としての課題は何か。また、第5次総合計画は何を目玉にしていくのか、優先すべき施策は何か。

答 町長 転入人口の継続的な増加は、本町の住環境が外部の視点で高く評価されていると推測されるが、一方で環境整備が今一番大きな課題と認識している。

その中心となる施策は、JR早島駅の拠点化、都市計画道路駅前バイパス線の計画変更手続きに着手するとともに、新たな定住空間の創出に向けて早島都市構造再編計画を11月に策定した。

問 目玉政策を実行するには当然予算が

答 町長 早島に住んでいてよかった豊かさが実感できるよう、限られた財源の中で事業にはなるが、取捨選択し皆様が望んでいる政策を実行していきたい。



庁舎内1階に設置されている次亜塩素酸電解水

# 問 瑕疵担保責任の事例及び再発防止策は

## 答 町民による指摘が端緒で1件実行、再発防止策は整備計画室が担当



佐藤辰美 議員

### 瑕疵担保責任の 実行

**問** 直近の発動例（①発動経緯と工事件名、②根拠法及び契約等について、③業者との折衝記録④設計不良か工事不良、又はその他再発防止策と内外への水平展開について）問

**答 町長** 平成28年町民による情報開示請求に係る現地見学での指摘が端緒。②顧問弁護士に相談の結果、工事請負契約

41条により、10年限で瑕疵補修請求可と判明。③町長名で業者に改造請求。④設計不良に関しては分からない。水平展開（再発防止策）としては、整備計画室を設置した。

**問** このような工事の瑕疵は、電気火災の要因となるが（沖縄の首里城の火災例）。

**答 町長** それぞれ部署に専門家はいないが、整備計画室に在籍する技師で対応する。

### 予定価格

**問** 過去の一般質問における答弁について（県標準に準拠して岡山県公共工事の予定価格の算定に使用する資材単価、①県公共工事建設資材等単価決定要領。②同①の運用に基づいて決定）

**答 町長** 県公共事業建設資材等単価決定要領等に基づいて予定価格を算出している。

**問** この課でも同じ要領で実施か。

**答 総務課長** 総務課ではチェックできていない。

**問** 予定価格の公表について問う。

**答 総務課長** 落札者が決定後、予定価格を公表しており、事前公表に相当するものはしていない。

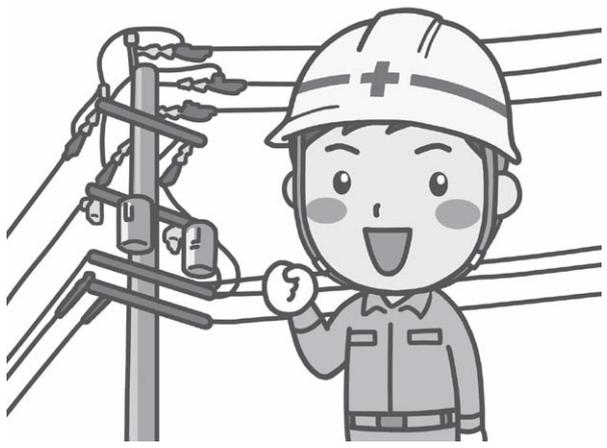
### 防災無線

**問** 輻輳については、いかなる時にも発生は皆無か。（①導入前の2017年11月の副町長（当時）の発言を引用。（ア）専用波に決定した決め手は「輻輳がないと判断。」②もし輻輳があるとしたら、その元副町長の責任はどうするか。（ア）具体的な

**答 町長** 専用波での輻輳がないことは、①検討委員会②防災会議で決定し、議会での議決の流れで決定した。

**問** 最善のシステムとして胸をはれるか。

**答 町長** 比較検討した上で専用波を採用した。





細田貴道 議員

**問** 早島版ネウボラを導入し、子育て支援の強化を

**答** 子育て世代包括支援センターを含む総合支援拠点を つくる

**問** 2020年に生まれた子供の数は過去最少の84万832人で、前年から2.8%の減少、婚姻件数は12%減の52万5490件となり、戦後最少を更新し、コロナ禍による経済不安や出会いの機会の減少などで、若い世代が結婚に踏み切りにくくなっている。

少子化対策に特効薬はないが、子育て世代が不安なく子どもを産み育てられる社会を目指し、家族ケアが過度な負担にならないような仕組みを工夫する必要があります。そういう意味でも自治体の果たす役割は大きい。

ケア、子育てに対する切れ目ない支援として、どのような取り組みをしているか。

**答 町長** 平成29年4月には妊娠期から子育て期までの総合相談、支援を担う「子育て世代包括支援センター」を近隣に先駆けて設置し、サポート体制をとっている。

ケア、子育てに対する切れ目ない支援として、どのような取り組みをしているか。

**答 健康福祉課長** 「子育て支援包括支援センター」はネウボラが原型になっているが、本町では来

る。

**問** フィンランドでは「ネウボラ」という子育て支援制度、施設がある。母子の健康のみならず、家族全体のサポートを目的とし、一家族を同じ保健師が継続的に担当することで、対象の家族全体を把握できる。切れ目のない対話によって、産後うつ、育児放棄、虐待や家庭環境全般に目が届きやすい。養育者が孤独になることなく、健全な子育てができ、子どもの健全な発達にも寄与できる。

年度、子どもとその家庭や妊産婦等を対象に、子ども家庭支援全般に係る業務、要保護児童や特定妊婦への支援、児童相談所などの関係機関との連携を行うため、社会福祉士等を設置し、新たに子ども家庭総合支援拠点を立ち上げ、専門的に支援していく。

今後、「子育て世

代包括支援センター」と連携を取りながら、子どもを生育する環境整備に取り組んでいく。

**答 町長** 保健センターを使うなりして、子育て、子ども相談も一括してできる総合拠点を作ること、より一層、子育て支援に力を入れていきたい。

**「ネウボラ」とは**

ネウボラとは、フィンランド語で「相談・アドバイスの場所」を意味する言葉。妊娠中から就学前まで、子どもがいる家庭を、窓口を一本化し支援する制度として、フィンランドでは1920年に取り組みが始まりました。フィンランドのネウボラは、妊娠中から就学前まで基本的には同じ保健師が母子の相談を受け、妊娠

期・出産期には病院と連携しながら、産後もずっと切れ目のない対話による理想的な支援が行われています。

ネウボラの運営主体は市町村で、利用は誰でも無料。所得に関係なく母親全員・全家庭を対象としているのが特徴です。最近では、わが国でもネウボラに取り組み自治体が少しずつ増えています。

# 幼稚園児が議場を見学

1月13日、早島幼稚園の年長クラス56名が町議会の議場を見学しました。

議場の中では町長や議員が使用する座席に座り、いろいろな質問を投げかけ、その質問に対して議長、副議長が回答しました。



## 令和3年度 議会報告会 開催



令和4年1月8日(土)午前10時より矢尾公民館にて、令和3年度、第一回議会報告会が開催されました。今年度の議会活動の報告を行い、参加者の皆様より議会活動や町政等に関する多くのご質問、ご意見、ご要望をいただきました。2月上旬に、新たに2か所で議会報告会を開催させていただく予定でしたが、岡山県に新型コロナウイルスの「まん延防止等重点措置」が適用されたため、やむを得ず中止とさせていただきます。

# 令和3年度 成人式が行われました



## 編集後記

昨年の成人式は新型コロナウイルス感染症拡大により残念ながら中止となった。人生の節目となる成人式が行われなかったことは、新成人にとっても大変寂しいことであつたと推察する。

今年、コロナ感染数減少のタイミングで、どうにか開催にこぎつけることができたことは大変喜ばしいことであり、新成人のはつらつとした笑顔は、どんよりとしたコロナ禍の空気を吹き飛ばしてくれた。

日本における今日の形態の成人式は、第二次大戦後の敗戦間もない1946年(昭和21年)に埼玉県北足立郡蕨町(現・蕨市)で実施された「青年祭」がルーツとされている。敗戦により虚脱の状態にあつた当時、次代を担う青年たちに明るい希望を持たせ励ますため、当時の青年団長(のち蕨市長)が主唱者となり「青年祭」を企画。そのプログラムとして、小学校の校庭にテントを張り「成年式」が行われた。この「成年式」が全国に広まり現在の「成人式」となった。蕨市では現在でも「成年式」と呼ばれているとのことである。

感染症のまん延など、厳しい時代ではあるが、新成人の皆様には、社会人としての自覚を持ち、持ち前の若さとパワーで、夢に向かってはばたいてほしいと願うばかりである。

議会広報担当一同

